

東海地方で活動する Goodbye Perio
プロジェクトメンバーの活動レポート

第2弾

小学生の4割が歯肉炎だということを知ってほしい。 その想いを手紙に託して……

歯周病罹患率80%を
歯科衛生士の私たちが
変えていく!

Goodbye
Perio
Project



上段左から：千田美和さん、金銅純子さん、岩崎るいさん、
小林佑紀さん、寺島亜季さん
下段左から：佐々木朋子さん、松本はるみさん



●フロスの習慣化により、
「歯肉炎」が改善・予防できる

そして何より力を込めたのが、歯科衛生士としての熱意！

「子どもたちの将来を守りたい、守るのは私たちがいなんだ」という気持ちを書きました。校長先生も同じく子どもを守る立場にある方。歯周病のことを知ってほしい。自分の学校の子どもたちはどうだろう？と考えてみてほしい。そして、予防方法を教える私たちの活動に興味を持ってもらいたい！」

試行錯誤と手直しを繰り返し、お手紙は完成しました。今後、住んでいる地域の小学校に送ることになっているそうです。

「子どもたちのフロス習慣化」の実現に向けて第一歩を踏み出した千田さん。やる気あふれる表情がとても印象的でした。

千田美和さんより：「東海地方の歯科衛生士さんへ。力を合わせればできることがもっと広がります。一緒に活動しませんか？ ぜひ事務局(0120-177-981)を通じてご連絡ください。

その後の進捗については、メンバーから報告があり次第お届けします。

自分の地域の歯科衛生士たちとつながれる！
あなたもGoodbye Perioプロジェクトのメンバーになりませんか？

「日本から歯周病の人をなくしたい」そんな想いをを持った歯科衛生士が集まるこのプロジェクト。
地域ごとのミーティングも活発化！一緒にイベントを企画するなかで、強い絆が生まれています。

登録は <http://perio.tuftclub.jp> で！

「地域の小学校に掛け合って、4年生以上の子どもたちに歯周病予防のことを直接伝えよう！」
名古屋市内で集まって、この目標を決めた7名の Goodbye Perioメンバー。まずは校長先生にお手紙を書くことで意見が一致しました。みんなを代表して筆を執ることになったのは、小学2年生のお子さんを待つ千田美和さんです。どんな気持ちで、どんなお手紙を書いたのでしょうか！?

仲間たちが、行動する
チャンスくれたんです！

自分たちの活動目標が決まった次の日。千田さんはさっそく仕事や家事の合間に校長先生宛ての手紙の内容を考え始めました。

「歯科衛生士としての自分の意見を、医院に来る患者さん以外に伝えるのは初めてのことです。ちょっとドキドキでした。でもすでに歯肉炎になっている子どもたちのことを考えたら、早く知らせないと！」って思ったんです。

実は千田さん、以前から娘さんの通う小学校で歯周病やむし歯予防の方法を伝えたいと考えていました。給食後に歯磨きの時間がないことや、学校で歯科受診を促されても親が子どもを連れて行かないケースが多いことに、疑問や危機感を抱いていたのです。

「当時は学校にお手紙を書いてみようと思っても、私にできるのかな？」と尻込みしていたんです。

●5歳〜9歳の子供の約4割が「歯肉炎」に罹患

●「歯肉炎」は自覚症状がないために放置され「歯周炎」に進行してしまう

●将来ずっと自分の歯を保つには、今のうちからフロスを使ったケアが必要

予防のプロとしての熱意を
きちんと書きました！

Goodbye Perioプロジェクトの活動内容を紹介しつつ、千田さんは次のことを手紙に書いています。

ました。今回、仲間たちに出会ったことで行動するチャンスをもらえたんです。うれしかったですね」

子どもたちの今と将来のために伝えたいことがあふれるなか、千田さんは想いを素直にぶつけることにしました。